

測

五年

画数 12
筆順

フン ソク
はかふる

成り立ち



「物をはかる基準」という意味の「則」と水の意味の「水」とを組み合わせて作った字です。

「水の深さを『はかる』こと」を表した字です。

しかし、今では、水に限らず、物の深さ、広さ、長さ、高さ、重さなどを『はかる』ことに使います。【例】測量、測定、実測、観測、目測。

また、「心で『おしはかる』」という意味にもつかいません。【例】推測、憶測、予測。

使い方

▽ぼくは星の観測が趣味です。夜、静かな中で、天体を観測していると、とても心がやすまります。

▽将来のことは、今から予測をつけるというわけにはいきません。でも、だから人生は面白いのです。先のこととが全部わかってしまったら、さぞつまらないことでしょう。

熟語例

▽測量（土地の形・位置・面積などを測ること。）

▽測定（速さとか長さとかをはつきりと測ること。）

▽実測（実際に測ること。「実測してみたが、予想とあまり違わなかった」などというふうには、つかいません。）

▽観測（自然現象などを観察し、そのうつりかわりの様子などを調べること。また、さまざまな資料から、あることとなりゆきをおしはかること。）

▽目測（目で見て、見当をつけること。）

▽推測（これまでの資料から、将来のことを推し測ること。）

▽憶測（いいかげんに推測すること。）

▽予測（あらかじめ推測すること。）

属

五年

画数 12
筆順

フン ソク
ゾク

成り立ち



中国の最初の帝国、夏の国を建てた王様の名前を禹と言います。その「禹」と、人のすがたを表した「尸」とを組み合わせて作った字です。

禹王はたいそうりっぱな天子でしたから、どんな人でも心から、「つきしたがい」しました。それで、禹と人との「つきしたがう」という意味を表しました。【例】付属、従属、属国、所属、専属。

また、「いっしょの仲間」という意味にも使います。【例】金属、尊属。

〔本字の「属」は、「尾」と「統」の仮借である。「蜀」との会意・形声字で、「交尾」を表した字である。属は漢音はシヨク、呉音はゾクである。〕

五年

七七四

使い方

▽ぼくのお父さんの会社に所属しているバレーボールチームが、大会で優勝しました。皆、大喜びして、会社で優勝祝賀会をしました。

▽むかしは、金属といえば、金・銀・銅・鉄など、地中にあるものだけでしたが、今は、それらの金属を混ぜ合わせて作られた合金もあります。

熟語例

▽付属（付いていること。「付属品があるので、なくさないようにしてください」などというふうには、つかいません。）

▽従属（あるものの下に、つき従っていること。）

▽属国（他の国に従属している国。独立していない国）

▽所属（ある所に属していること。）

▽専属（ある一つの所だけに属していること。）

▽金属（金・銀・銅・鉄・鉛など。また、それらの合金）

▽尊属（お父さん、お母さんや、それより年上の、目上の血族）

五年

七七五